



主催 千種区役所 千種区安心・安全で快適なまちづくり協議会

## 【俳句部門】

最優秀賞	てんさく 添削の	な し くせじ 亡き師の癖字	み し 身に入むる	遊泉
～審査員講評～				
今回のテーマ「大切な人」に一番ピッタリした俳句です。教えを受けた恩師の癖字を、身に入むとは見事な表現のしかたです。身に入むという言葉と、季語との取り合わせがうまく一致しています。心境的な響きが俳句にあります。句として大成功です。				
優秀賞	にったいじ 日泰寺	でむか やく 出迎え役は	みち 道をしへ	鎌田 洋
優秀賞	とこあ 床上げの	つま けしょうや 妻の化粧や	あき はれ 秋の晴	小野 薫
優秀賞	きゅうかつ 久闊を	わ えはがき 詫びし絵葉書	ほしなが 星流る	今堀 あや
佳作	わす ぐさ 忘れ草	きみ こい 君との恋を	わす 忘れさせ	水野 真歩
佳作	きんぎょばち 金魚鉢	あか 赤いドレスと	きみ え 君の笑み	江崎 琴音
佳作	りょくいん 緑陰に	けんたんなかま 健啖仲間	てべんとう 手弁当	松波 壽子
佳作	なつまつ 夏祭り	よぞら さ 夜空に咲いた	こい はな 恋の花	宅野 友菜
佳作	こ はいく 子が俳句	つづ なつ 続けし夏と	なりにける	小雪

## 【川柳部門】

最優秀賞	これからも <sup>せいしゅん</sup> 青春しよう よろしくね	マカロニア
	～審査員講評～ 高齢化が進み、人生「百年時代」もすぐそこまで来ています。どなたも家族や周囲に迷惑を掛けないう最後まで元気に過ごしたいと努めています。「青春しよう」から日々澁刺と過ごす作者が見えます。この言葉を夫婦間、友人間で交わされる合言葉にしたいですね。	
優秀賞	や <sup>とも</sup> 病む友へ <sup>はげ</sup> 励ます <sup>どうが</sup> 動画 メッセージ	奥村 勝志
優秀賞	<sup>すだ</sup> 巢立ちした <sup>へ</sup> 部屋にも <sup>はる</sup> 春の <sup>ひ</sup> 陽を入れる	安藤 美佐子
優秀賞	<sup>だ</sup> 抱きしめて <sup>だ</sup> ただ抱きしめて <sup>い</sup> 癒やす <sup>きず</sup> 傷	山路 良枝
佳作	まっすぐに <sup>はし</sup> 走れと <sup>ちち</sup> 父は <sup>あぶら</sup> 油 さす	松波 壽子
佳作	<sup>ゆめすこ</sup> 夢少し <sup>ふ</sup> ふところにあり <sup>かた</sup> 語り合う <sup>あ</sup>	前田 ヒデ子
佳作	おめでとう <sup>まご</sup> 孫の手紙の <sup>さか</sup> 逆さ <sup>も</sup> 文字	四方田 米子
佳作	ラインにて <sup>むす</sup> 結ばれている <sup>さんせだい</sup> 三世代	竹井 貞夫
佳作	<sup>みあ</sup> 見上げれば <sup>はな</sup> 離れていても <sup>おな</sup> 同じ <sup>そら</sup> 空	久世 希美

【子ども部門】

最優秀賞

せんそうは <sup>あいて</sup> 相手をころす こわいんだ

河嶋 權生

～審査員講評～

いまお <sup>せんそう</sup> 今起こっている戦争をズバリ <sup>かん</sup> 感じたまま <sup>ことば</sup> 言葉に <sup>あらわ</sup> 表した、

よ <sup>さくひん</sup> 良い作品です。麦畑や工場、<sup>むぎぼたけ</sup> <sup>こうじょう</sup> 住まい、<sup>す</sup> それに <sup>びょういん</sup> 病院や

<sup>がっこう</sup> 学校までが <sup>はかい</sup> 破壊されて、<sup>た</sup> たくさんの <sup>こども</sup> 子供やお <sup>としよ</sup> 年寄り、<sup>おとな</sup> 大人

も <sup>ひがい</sup> 被害を受けて、<sup>う</sup> 亡くなったり <sup>な</sup> しています。<sup>いちにち</sup> 一日も <sup>はや</sup> 早く <sup>はな</sup> 話

し <sup>あ</sup> 合いで、<sup>へいわ</sup> 平和な <sup>よ</sup> 世の中 <sup>なか</sup> がきてほしいですね。

優秀賞

ちい <sup>むし</sup> 小さい虫たち ふまないからね <sup>あ</sup> がんばって

近藤 千紗

優秀賞

ギューツとね <sup>そら</sup> お空のジィジに <sup>あ</sup> してあげたい

荒木 悠音

優秀賞

なが <sup>びょうき</sup> 長いかみ 病気の人に <sup>ひと</sup> おくります

犬塚 凜

優秀賞

いもうと <sup>あ</sup> 妹は なまいき <sup>だけど</sup> けど <sup>かわい</sup> かわいいな

代田 真悠

優秀賞

はんこうき <sup>すなお</sup> 反抗期 素直に <sup>い</sup> 言えない <sup>あ</sup> ありがとう

丹波 心晴

優秀賞

コロナ禍で <sup>か</sup> <sup>あ</sup> 会えない <sup>そふぼ</sup> 祖父母 <sup>がめんこ</sup> 画面越し

糸山 ゆりの

佳作	きがつけば なつのおわりに まっくろけ	井上 晏
佳作	すいかわり <sup>め</sup> 目かくししても <sup>み</sup> 見えている	小野田 有莉愛
佳作	みんなとね <sup>はや</sup> 早く <sup>あ</sup> 会いたい <sup>しんがっき</sup> 新学期	河北 妃夏
佳作	せみのうか かぞくでみつつ がんばって	濱田 千鶴
佳作	お父さん <sup>とう</sup> <sup>おお</sup> しごと多すぎ だいじょうぶ	今橋 理子
佳作	バスの中 <sup>なか</sup> せきをゆずるよ じいちゃんに	鏡味 仁湖
佳作	<sup>なつやす</sup> 夏休み きたえてくれた つめしょうぎ	駒谷 信太郎
佳作	<sup>ふたり</sup> 二人めの <sup>いもうとう</sup> 妹生まれ だっこする	横山 莉李
佳作	おかえりと <sup>しず</sup> 静かにむかえる <sup>きんぎょ</sup> 金魚ばち	森川 峻
佳作	<sup>いえ</sup> 家に住む <sup>ちい</sup> 小さいクモも <sup>かぞく</sup> 家族です	武田 ひなた
佳作	アルバムの <sup>しゃしん</sup> 写真の <sup>おお</sup> 多さ <sup>はは</sup> 母の <sup>あい</sup> 愛	高橋 百香
佳作	<sup>さみ</sup> 寂しくない <sup>はな</sup> 離れていても いつもそば	河野 公紀



第八回千種区俳句・川柳コンクール

～「大切な人(友人や家族など)への想い」をテーマに、自由に詠んでみよう～

選者

俳句部門	大原 坦	先生(ともしび白珠句会俳句部門編集責任者)
川柳部門	荒川 八洲雄	先生(中日川柳会会長)
子ども部門	宮井 寛	先生(ともしび白珠句会事務長、北の風花代表)

応募総数

俳句部門	1 5 9 句
川柳部門	2 4 9 句
子ども部門	4 8 1 句

